

タイトル案

- 案① 学園都市うえだビジョン
- 案② 学園みらい都市上田ビジョン

1 策定の趣旨

上田市内には複数の大学・短期大学・専門学校等（以下「大学等」という。）が立地し、令和7年度（2025年度）現在約4,500人の学生が学んでいますが、少子化の進行と若者の大都市集中傾向によって今後学生数の減少が課題となっています。こうした社会情勢のもと、上田市では、「学園都市上田」としての特徴を活かして、大学等と上田市が支えあいながら発展するとともに、学生が充実した学生生活を送り、学生と市民との相互の交流が育まれ、学生とまちとの関係が深まることで、賑わいと活力が創出され、学生から選ばれる上田市を目指して策定しました。

2 計画期間

第3次上田市総合計画の前期まちづくり計画期間に合わせ、令和8年度から令和12年度の5年間とします。

3 推進体制

本ビジョンでは、学園都市づくりを大学等とともに市民、小中学校、高等学校、企業、地域、行政が連携し、若者の声を聴き、若者とともに取組を推進します。

なお、国や長野県の動向、学生数の推移など社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じて内容の見直しを行います。

4 「学園都市うえだ」への想い

- コンセプト「学生の賑わいと地域の魅力向上 選ばれる学園都市に」

- ・大学等の行う高等教育の振興を通じて、大学等と地域が互いに交わり、支え合い、さらには、共創により新たな価値を創出することを通して、学生の地域への愛着の醸成と地域の魅力向上や活性化を目指します。

- キャッチフレーズ（案）

案①「学生が集い、市民と響き合い、未来を描くまち 上田」

～学ぶ力×地域力=上田の未来～

想い：学生と市民が交流し、互いに刺激し合うことで、新しい価値や未来のビジョンが生まれ、まち全体が学びと創造の場となることを目指す。

案②「学生と地域が手を取り合い、未来をデザインするまち 上田」

～「知」と「地域」で未来を織りなせ～

想い：協働の力で新しい未来を創り、学生の挑戦と地域の経験が融合し、まちづくりの新しいモデルとなる。

○ 5つの基本施策

「基本施策1 地域連携支援」

◇目指すべき姿

大学等と地域が、課題と目標を共有し、ともに考え、解決に向けて主体的に取り組む関係性が築かれており、互いの発展に貢献している。

また、地域での学びを通して、学生が主体性や課題解決の実践力を身に付けるとともに、地域への理解を深め、愛着が育まれる。

◇施策の方向性

(1) 大学等と地域とのつながりづくり

大学等を含む多様な主体が互いに連携しあうための共創の場づくりを進めることにより、大学等の専門性（知識）と地域資源を活用した教育を支援するとともに、学生の地域での学びを支援します。

(2) 行政と大学等との共創の推進

行政では、大学等を「共創」の重要なパートナーであるという認識のもと、積極的に連携を図り、地域課題の解決につなげることで、大学等の存在により地域が発展していくと実感できるまちづくりを推進していきます。

「基本施策2 産学官連携支援」

◇目指すべき姿

上田市の多様な産業と大学等が組織単位で連携する関係性を築き、互いのリソース、ノウハウを持ち寄ることで新たなイノベーションを創出する。

◇施策の方向性

(1) 大学等と市内企業との連携促進

大学等と市内企業との交流を通じて、共創のパートナーとしての関係性を築けるよう、連携の充実を図ります。

(2) 産学官連携によるイノベーション創出の支援

大学等の知的財産、学術研究の成果が企業課題の解決に結びつき、社会への貢献につながるよう、共同研究・共同開発を支援します。

「基本施策3 学生活動支援」

◇目指すべき姿

学生が地域を舞台とした様々な活動を通して地域住民と交流を持つことで「社会貢献意識・自己肯定感」を向上させ、地域の一員としていきいきと暮らし、地域に活力が生まれるとともに、学生が安全安心に暮らし、社会とのつながりを持ちながら自分らしいみちを歩める場所として上田市に魅力を感じている。

◇施策の方向性

(1) 地域で活動する学生の支援

地域貢献の意欲を持つ学生が活動の場を広げるとともに、地域社会の一員として力を発揮できるよう支援します。

(2) 学生と地域活動を結ぶ機会の創出

ボランティア活動等に興味・関心のある学生が、活動しやすく、志をともにする仲間を見つけ、より発展した活動につながる機会を提供します。また、活動の様子を広く周知することで、「潜在的ボランティア層」の活動参加を促します。

(3) 支援者間のマッチング支援

学生の参加を求める地域と学生とのマッチングが円滑に展開されるようコーディネートします。

(4) 学生生活が充実する環境づくり

学生が地域社会において安心して生活ができ、地域が学生にとっての居場所と感じられる取組をします。

「基本施策4 学生の就職支援」

◇目指すべき姿

地域での学びや地域企業との交流を通じて学生が自身のキャリア形成に有益な体験を得て、将来のライフステージとして上田市で働くこと、暮らすことに魅力を感じる。

◇施策の方向性

(1) 地域資源を活かした連携の推進による大学等のキャリア教育の支援

上田市の多様な地域資源との関わりの中で行う、地域連携、産学官連携による連携事業や、学生活動を通して社会人として求められる能力や姿勢を身に付けるためのキャリア教育を支援します。

(2) 市内企業の魅力の発信

学生が希望する働き方を実現できるよう、就職の選択肢を広げるとともに、地域産業を支える人材確保を図ることを目的として、学生に対する市内企業の魅力発信を支援します。

(3) 市内就職及び定住の促進

学生、若者を対象として、大学等の卒業後などにおいて、上田市を働く場所、住む場所として選ぶことにつながるような取組を進めます。

「基本施策5 生涯学習・リカレント教育支援」

◇目指すべき姿

各ライフステージにあわせて、大学等が学びを得る場となり、生涯にわたり切れ目なく学べる環境を整備する。

◇施策の方向性

（1）多様な学びの環境づくり

小中高大連携や大学間連携を推進し、児童・生徒・学生が大学等の特色ある多様な「知」に触れるとともに、地域を理解し、地域の歴史、文化、自然、人々の結びつきなど、様々な要素に対する誇りや愛着を醸成するための学習環境づくりを進めます。

（2）自己実現のための学びの支援

大学等の特色を活かした専門的な学習機会を広く創出することで、社会人の学び直し（リカレント教育）や自己の生涯学習への取組などを促進します。